



もう一度宿題について考えてみる

今年の8月に浜松市で記録された最高気温41.1度には驚きましたが、9月になってもまだまだ残暑は続きそうです。そんな中でエアコンが故障してしまった学校もあると聞きました。とにかく熱中症には気をつけましょう。こまめな水分補給とともに睡眠の確保も大切です。期末テスト前でやらなければならないことがたくさんあるからと焦って夜更かししてしまい、そのせいで体調を崩してしまっては元も子もありません。

さて私が音楽好きでギターを弾いたりすることはご存知の方も多いと思います。でも今まできちんと習ったことはなく、まったくの独学で自己流そのものです。そこで去年の終わりごろ思い立って、週1回近くの音楽教室でアコギコースのレッスンを受けることにしました。経験があるから中級コースでいだろうと調子に乗って、有名アーティストのバックギタリストもしたことがあるという講師の方に教えてもらいました。講師の演奏に合わせて弾くとそれなりにできて、「次回はこれを覚えてきてください。」という指示にも「何とか次回もその場でできるだろう」と高をくくってしまいました。ところがやっぱり自宅練習なしではできないことを実感。しみじみと宿題を忘れた人の気持ちを味わいました。

前振りが長くなってしまいましたが、学校も塾も再開して秋の本格的な授業で勉強の遅れを取り戻そうというこの時期に、もう一度宿題のことを考えてほしいのです。小学生では宿題と学力に相関関係がないという教育学者もいます。例えば漢字の書き取りの宿題を出されて、部首だけをずらっと先に何回も書くなんていう「やつつけ仕事」ではただの作業で学力が付くはずはありません。しかし、本来の宿題には「家庭学習の習慣をつけること」と「学習したことを時間をおいて思い出しながら定着させる」という二つの大きな意味があるのです。学校や塾で「わかる」そして「できる」までは何とかあります。それが「いつもできる」「速くできる」ために自分はどうすればいいかをもう一度真剣に考えてみてください！